

# おぼせ

## 昆虫と自然の館

### 通信⑦

ウラナミシジミ(チョウ目・シジミチョウ科)

8月中旬頃から11月頃まで活発に飛び、コセンダングサやマメ科の花で吸蜜するシジミチョウがいます。ハネの裏に波のような模様のあるウラナミシジミです。幼虫はフジマメやアズキなどマメ科植物



水田での成虫(左)、山での成虫(右)

の花や果実、新芽を食べます ◆ウラナミシジミは埼玉県内ではほぼ毎年普通に見ることができですが、土着しているわけではありません。霜の降りる頃になると、卵も幼虫も蛹も成虫も寒さに耐えられず死に絶えてしまします。関東地方では房総半島の南端で生き残り、春から夏、秋にかけて気温の高い年には、ウラナミシジミは東北地方から北海道にまで分布域を広げ、冬の到来とともに死滅します。なぜ、このようなことをしているのか、本当の理由はわかっていません ◆コメが極端に不作であった1993年は記録的な冷夏でした。この年、ウラナミシジミは埼玉県内では発生しませんでした。筆者だけの観察では不十分なので、埼玉昆虫談話会の「金曜セミナー」で会員の意見を聞いて「埼玉動物研通信」に「埼玉県でウラナミシジミが発生しなかった1993年」という小文を1994年に書きました。「いかなかった」という記録は重要なのですが、記録として残すことは難しいのです。

(果瀬 司)

## おぼせ アートミュージアム



4年 野口 桃果さん 『わんぱく わくわく ひょうたん島』



5年 能仲 駿さん 『夜のキツネ』



## 越生小学校

### 11月の納税

固定資産税 第4期  
国民健康保険税 第5期  
(11月30日まで)

### 人口と世帯

10月1日現在  
( )は前月比

総人口	12,664人(-10)
男性	6,309人(-3)
女性	6,355人(-7)
世帯数	4,921世帯(-1)

あとかき  
今月の表紙は体育祭です。開催日当日、広報紙担当として、みなさんが競い合い、また、助け合う姿をカメラのファインダー越しに覗いていました。その笑顔はどれも、澄み切った秋空のように清々しいものでした。昨今、地域における人間関係の希薄化が問題となつていますが、こうしたイベントへ参加することが、地域の絆を紡ぎきっかけになるのだな、と実感しました。さて、11月18日、町主催の防災訓練を実施します。日頃培った地域の絆が試される絶好の機会です。みなさん、ふるつてご参加ください。